



製品には OS がプリインストールされています。  
この手順は、工場出荷時の状態に戻したい場合にのみ行ってください。

## ■ Fedora 9 インストールガイド



1. マシンの電源を入れ、Fedora 9 のインストール DVD を入れます。

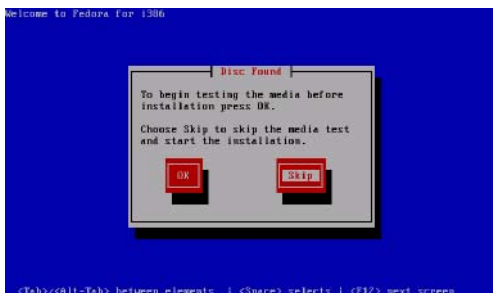
2. 左の画面が表示されます。

**【ブルーレイドライブ搭載モデルの場合】** 例：夏目坂モデル High Position LV3.1

P.17 の「A. ブルーレイドライブ搭載モデル インストール手順」を参照してください。

**【それ以外の場合】**

[ Install or upgrade an existing system ] を選択して Enter キーを押し、手順 3 に進んでください。



3. メディアのチェック

インストール前にメディアのチェックを行うかどうかを聞かれます。  
Tab キーを押して [ Skip ] を選び Enter キーを押します。

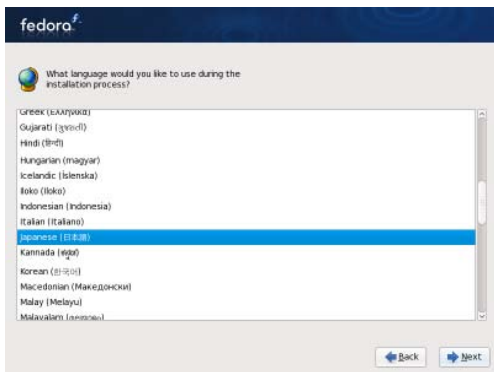
**【GUI インストーラ画面が正常に表示されない場合】**

P.20 の「B. インストールディスクからの起動時に画面が正常に表示されない場合」を参照してください。



4. GUI インストーラの起動

[ Next ] ボタンを押します。



## 5. 使用言語の選択

[ Japanese (日本語) ] を選んで [ Next ] ボタンを押します。



## 6. キーボードの設定

[ 日本語 ] を選択して [ 次 ] ボタンを押します。



## 7. システムインストールの選択

新しくシステムをインストールするか既存のシステムをアップグレードするかを聞かれます。

[ インストール (I) Fedora ] を選択し、[ 次 ] ボタンを押します。



## 8. ネットワークの設定

[ DHCP 経由で自動設定 ] を選び [ 次 ] ボタンを押します。



## 9. タイムゾーンの設定

[システムクロックで UTC を使用] のチェックを外します。  
[次] ボタンを押します。



## 10. root パスワードの設定

6 文字以上の英数字を入力します。  
[次] ボタンを押します。



## 11. パーティションの設定

[選択したドライブ上の linux パーティションを削除してデフォルトのレイアウトを作成します] を選び [次] ボタンを押します。  
[変更をディスクに書き込む] ボタンを押します。

ファイルシステムがフォーマットされます。



## 12. インストールパッケージの選択

何も変更せず [次] ボタンを押します。  
インストールが開始されます。



### 13. インストール完了

DVD メディアを取り出し、[再起動] ボタンを押します。

#### 【グラフィックカード搭載モデルで、ようこそ画面が正常に表示されない場合】

P.21 の「C. グラフィックカード搭載モデルでインストール完了後の再起動時に画面が表示されない場合」を参照してください。



### 14. ようこそ

[進む] ボタンを押します。



### 15. ライセンス情報

[進む] ボタンを押します。



### 16. 通常使用するユーザの作成

ご自分の環境にあわせて入力します。[進む] ボタンを押します。



## 17. 日付と時刻の設定

日時が間違っている場合は修正します。  
[進む] ボタンを押します。



## 18. ハードウェアプロフィール

[プロフィールを送信しない] をチェックして [進む] ボタンを押します。  
[いいえ、送信しません] ボタンを押します。

以上でインストールが完了しました。

## A. ブルーレイドライブ搭載 モデル インストール手順



1. マシンの電源を入れ、Fedora 9 のインストール DVD を入れます。左の画面が表示されます。

[ Install or upgrade an existing system ] を選択して「Tab」キーを押します。



2. 「vmlinuz initrd=initrd.img」と表示されますので、まずスペースを入力し、続けて「vesa」と入力します。「Enter」キーを押して起動します。



### 3. Language Selection

カーソルキーで [ Japanese ] を選択し、[ Tab ] キーを押して「OK」ボタンを選択します。

[ Enter ] キーを押します。



### 4. Language Unavailable

[ Enter ] キーを押します。



## 5. Keyboard Selection

カーソルキーで [ jp106 ] を選択し、[ Tab ] キーを押して「OK」ボタンを選択します。

[ Enter ] キーを押します。



## 6. Installation Method

カーソルキーで [ Local CD / DVD ] を選択し、[ Tab ] キーを押して「OK」ボタンを選択します。

[ Enter ] キーを押します。



「Disk Not Found」と表示された場合は、[ OK ] を選択してください。



## 7. メディアのチェック

インストール前にメディアのチェックを行うかどうかを聞かれます。Tab キーを押して [ Skip ] を選び Enter キーを押します。



## 8. GUI インストーラーに切り換わります

P.13 の手順 8 から P.15 の手順 13 までを行います。



## 9. インストール完了

DVD メディアを取り出し、[再起動] ボタンを押します。

次は、P.21 の「C. グラフィックカード搭載モデルでインストール完了後の再起動時に画面が表示できない場合」に進み、作業を続けてください。

## B. インストールディスクからの起動時に画面が正常に表示されない場合



- ・インストールディスクからの起動時に、左のようなエラー画面が表示されたり画面が乱れたりした場合は、キーボードの **Ctrl+Alt+Delete** で再起動してください。



- ・ **[Install or upgrade an existing system]** を選択して「Tab」キーを押します。



- ・「**vmlinuz initrd=initrd.img**」と表示されますので、まずスペースを入力し、続けて「**vesa**」と入力します。

「Enter」キーを押して起動します。

### 【正常に GUI インストーラ画面が表示されない場合】

お使いのディスプレイとの相性問題が考えられます。インストールディスクの起動メニューから **[Install or upgrade an existing system (text mode)]** を選択し、とりあえずテキストモードでインストールを完了することで、画面表示できるようになる可能性があります。



- ・GUI インストーラが起動します。

以降は、P.13 「5. 使用言語の選択」に戻って作業を続けてください。

## C. グラフィックカード搭載モデルでインストール完了後の再起動時に画面が表示されない場合

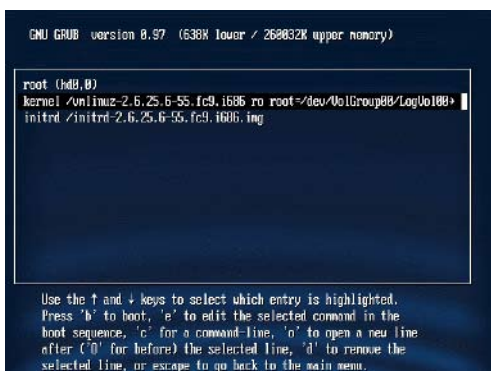


- ・インストール完了後の再起動時に、ディスプレイの表示範囲外エラーや画面が何も表示されない等の現象が起きた場合は、キーボードの `Ctrl+Alt+Delete` で再起動してください。

左の画面が表示されたら、素早く何かキーを押します。



- ・起動したい kernel を選択して「E」キーを押します。



- ・kernel の行を選択後、キーボードの「E」キーを押して編集画面を表示します。



- ・kernel の行の最後にスペースを入力し、続いて「single」と入力し、「Enter」キーを押して編集画面を閉じます。

例 : `grub edit > kernel /vmlinuz-2.6.25.6-55_fc9.i686 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol00 rhgb quiet single`

画面上では行の最後の方しか表示されていませんが、カーソルを移動させることでコマンドが確認できます。

```
GNU GRUB version 0.97 (638K lower / 268832K upper memory)

root (hd0,0)
kernel /vmlinuz-2.6.25.6-55.fc9.i686 ro root=/dev/UrGroup00/LogUr000
initrd /initrd-2.6.25.6-55.fc9.i686.img

Use the ↑ and ↓ keys to select which entry is highlighted.
Press 'b' to boot, 'e' to edit the selected command in the
boot sequence, 'c' for a command line, 'o' to open a new line
after '^O' (or before) the selected line, 'd' to remove the
selected line, or escape to go back to the main menu.
```

・「B」 ボタンを押して、シングルユーザモードで起動します。

```
Recovering journal... done.
Booting the kernel.
Red Hat mash version 6.0.52 starting
Reading all physical volumes. This may take a while...
Found volume group "UrGroup00" using metadata type lvm2
2 logical volume(s) in volume group "UrGroup00" now active
Welcome to
Press 'I' to enter interactive startup.
Starting sdev: [ OK ]
Setting hostname localhost.localhost: [ OK ]
Setting up Logical Volume Management: 2 logical volume(s) in volume group "Ur
Group00" now active [ OK ]
Checking filesystems
/dev/UrGroup00/LogUr000: clean, 123668/475136 files, 796544/1988544 blocks
/boot: clean, 36/58208 files, 18766/288788 blocks
Remounting root filesystem in read-write mode: [ OK ]
Mounting local filesystems: [ OK ]
Enabling local filesystem quotas: [ OK ]
Enabling /etc/fstab swaps: [ OK ]
root@localhost ~# cd /etc/X11/
root@localhost X11# cp xorg.conf xorg.conf.vesa
root@localhost X11# sed s/vesa/nv/ xorg.conf.vesa > xorg.conf
root@localhost X11#
```

・X ウィンドウのドライバを変更します。

プロンプトが表示されたら、以下のようにコマンドを実行してください。

例：

```
[ root@localhost / ]# cd /etc/X11
```

```
[ root@localhost X11 ]# cp xorg.conf xorg.conf.vesa
```

```
[ root@localhost X11 ]# sed s/vesa/nv/ xorg.conf.vesa > xorg.conf
```

```
Found volume group "UrGroup00" using metadata type lvm2
2 logical volume(s) in volume group "UrGroup00" now active
Welcome to
Press 'I' to enter interactive startup.
Starting sdev: [ OK ]
Setting hostname localhost.localhost: [ OK ]
Setting up Logical Volume Management: 2 logical volume(s) in volume group "Ur
Group00" now active [ OK ]
Checking filesystems
/dev/UrGroup00/LogUr000: Superblock last write time is in the future. FIXED.
/dev/UrGroup00/LogUr000: clean, 123832/512864 files, 799548/2848888 blocks
/boot: recovering journal
/boot: clean, 36/58208 files, 18766/288788 blocks
Remounting root filesystem in read-write mode: [ OK ]
Mounting local filesystems: [ OK ]
Enabling local filesystem quotas: [ OK ]
Enabling /etc/fstab swaps: [ OK ]
root@localhost ~# cd /etc/X11/
root@localhost X11# cp xorg.conf xorg.conf.vesa
root@localhost X11# sed s/vesa/nv/ xorg.conf.vesa > xorg.conf
root@localhost X11# grep nv xorg.conf
Driver "nv"
root@localhost X11#
```

・X ウィンドウのドライバ変更が成功したか確認します。

例：

```
[ root@localhost X11 ]# grep nv xorg.conf
```

「Driver "nv"」と表示されることを確認します。

出力結果が正しくない場合は、以下のコマンドを再度実行してください。

```
[ root@localhost X11 ]# sed s/vesa/nv/ xorg.conf.vesa > xorg.conf
```

```
Found volume group "UrGroup00" using metadata type lvm2
2 logical volume(s) in volume group "UrGroup00" now active
Welcome to
Press 'I' to enter interactive startup.
Starting sdev: [ OK ]
Setting hostname localhost.localhost: [ OK ]
Setting up Logical Volume Management: 2 logical volume(s) in volume group "Ur
Group00" now active [ OK ]
Checking filesystems
/dev/UrGroup00/LogUr000: Superblock last write time is in the future. FIXED.
/dev/UrGroup00/LogUr000: clean, 123832/512864 files, 799548/2848888 blocks
/boot: recovering journal
/boot: clean, 36/58208 files, 18766/288788 blocks
Remounting root filesystem in read-write mode: [ OK ]
Mounting local filesystems: [ OK ]
Enabling local filesystem quotas: [ OK ]
Enabling /etc/fstab swaps: [ OK ]
root@localhost ~# cd /etc/X11/
root@localhost X11# cp xorg.conf xorg.conf.vesa
root@localhost X11# sed s/vesa/nv/ xorg.conf.vesa > xorg.conf
root@localhost X11# grep nv xorg.conf
Driver "nv"
root@localhost X11# reboot
```

・「reboot」コマンドを実行し、再起動します。

例：

```
[ root@localhost X11 ]# reboot
```



• 「ようこそ」の画面が出たら成功です。

P.15 手順 14 に戻ります。